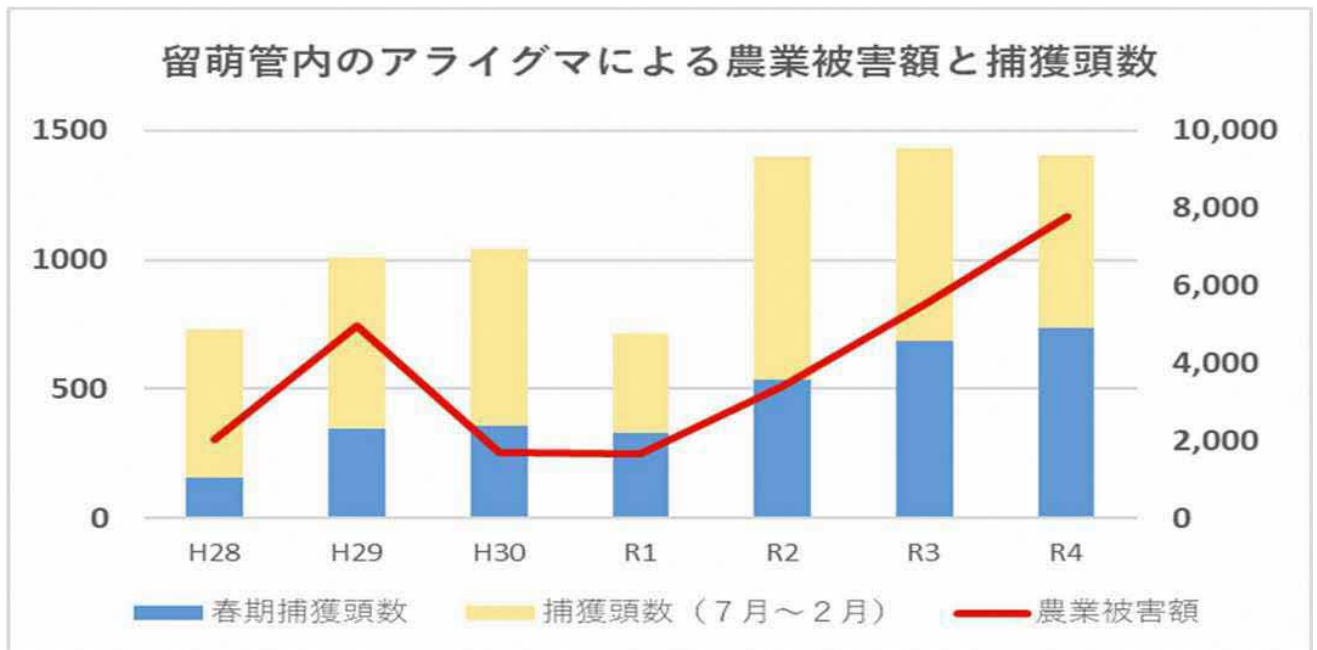


留萌振興局管内のアライグマ対策について

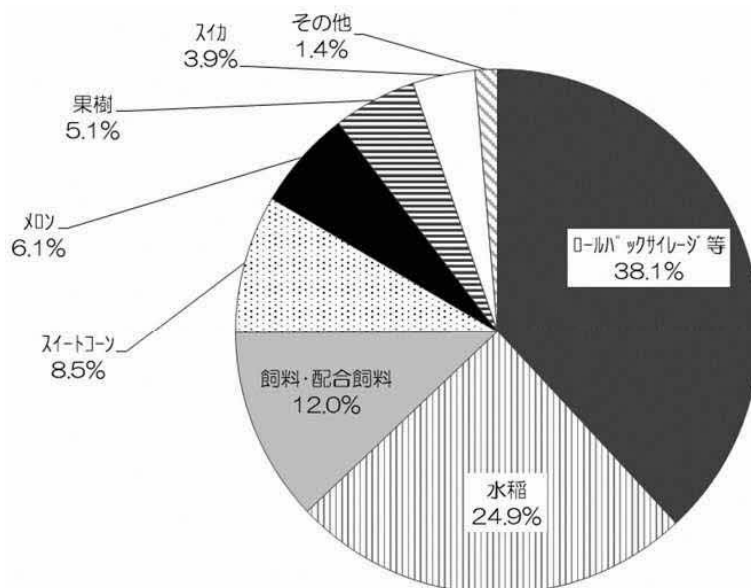
○ 経緯と現状

特定外来生物に指定されているアライグマは、留萌管内の全市町村で侵入・定着が確認されており、農業被害が報告されている。平成27年から効果的な捕獲のため、アライグマが妊娠中及び授乳中の春期に捕獲推進期間を設け、管内一斉の捕獲に取り組んでおり、春期捕獲頭数は順調に増加してきたが、令和2年度以降、年間捕獲頭数は1,400頭前後に伸び悩む一方、農業被害額は令和2年度から増加傾向に転じており（R2 被害額:340万 → R4 被害額:780万）、現状の対策だけでは、今後、更なる農業被害額の増加が予想される。



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
農業被害額（千円）	2,049	4,955	1,691	1,674	3,391	5,508	7,776
捕獲頭数（頭）	733	1,007	1,045	716	1,399	1,433	1,406
（内春期捕獲頭数）	(159)	(345)	(358)	(329)	(538)	(688)	(736)

留萌管内のアライグマによる農林業被害額の内訳（R4）



○ アライグマ捕獲プログラムについて

現在、アライグマの捕獲は市町村が主体となって実施されていますが、平成30年に地域の課題の把握などを目的とし、市町村を対象とするアンケートを実施したところ、最も多くの市町村が「アライグマの捕獲にあたっての課題」として挙げた項目が、「生息数がわからない」、次いで「何頭捕獲すれば被害が減るかわからない」というものでした。

そこで、道及び道総研が捕獲の実施主体である市町村が、効果的かつ効率的に捕獲を実践するための支援ツールとして令和5年度に「アライグマ捕獲プログラム」を作成しました。

「アライグマ捕獲プログラム」は、これまで、現場で一番の課題とされてきた、「生息数がわからない」、「何頭捕獲すれば被害が減るかわからない」といった課題を解決する簡易な手法が記載されていることが大きな特徴で、各市町村におけるアライグマ対策の一助となると考えております。

本プログラムについては、本年度、留萌管内の各市町村担当者等を対象に、研修会を開催する予定としております。効果的かつ効率的なアライグマ対策の実施のため、ご参加をよろしく御願いたします。

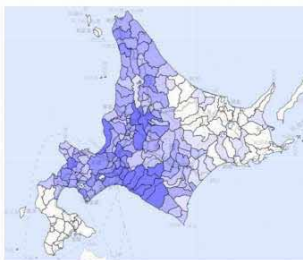
(参考：アライグマ捕獲プログラムの紹介)

☆参考 わがマチの現状把握と対策を検討する方法☆



北海道のホームページで、皆様から寄せられたメッシュごとの捕獲データなどが、地図情報としてご覧になれます
→地域の現状把握及び今後の対策に活用してください。

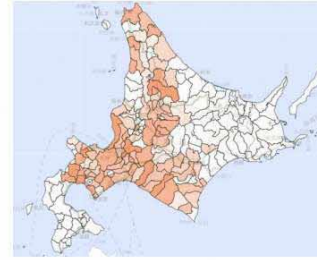
捕獲数



生息密度指標



農業被害額

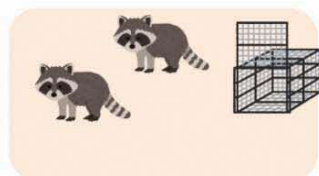


！ わがマチの現状を把握する方法

・市町村内のどこでアライグマが多く生息？
→捕獲数とワナかけ日数から推定できます

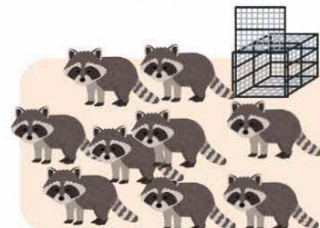
生息密度指標のイメージ

C町



<

D町



B町の方が、アライグマの生息密度が高い

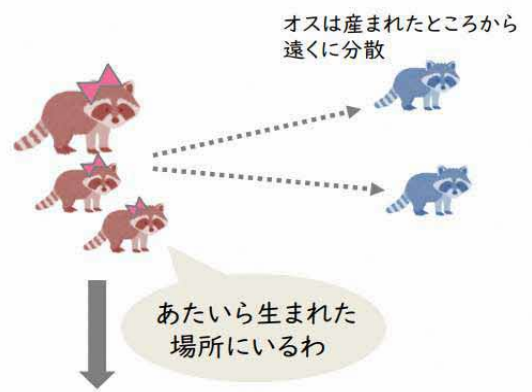
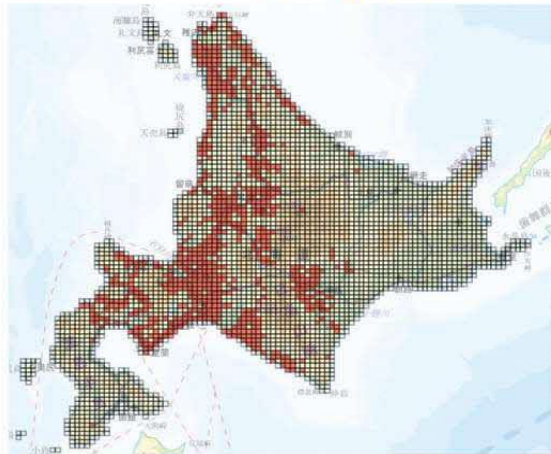
$$\text{生息密度指標} = (\text{捕獲数}) / (\text{ワナかけ日数}) \times 100$$

CPUE(Capture Per Unit Effort)

・今後個体数が増加しやすい地域は？
→雌雄別、成獣及び幼獣別の捕獲で推定できます



成獣メス・幼獣の捕獲有無



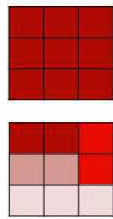
メスが捕獲される場所は定着域
→ 今後増加する可能性大

・どのように地図を参考にしたらいい？

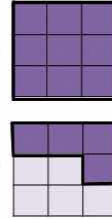
→ マチの中の捕獲重点地域を探してみよう

5kmメッシュ地図を
組み合わせ

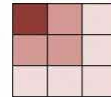
CPUEマップ



捕獲重点地域

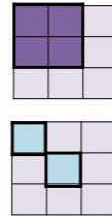
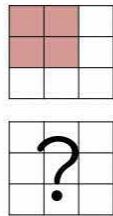
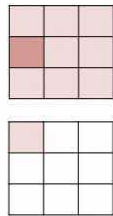


特別捕獲重点地域



メス捕獲数
多い場所

メス捕獲マップ



目撃情報等が
得られた場所

まずは増やさないために、**増加数以上を目標数に!**

↑最低目標捕獲数

例えば...

- a. 当該年度のマチの捕獲数 **129 頭**
- b. 当該年度のマチのわなかけ日数 **2420 わな日**
- c. マチで捕獲が行われているメッシュ数 **7 メッシュ**

5km四方で区切った区画数

I. CPUEを算出

$$a / b \times 100 \rightarrow 129 / 2420 \times 100 = 5.330578$$

II. 推定生息密度に換算

$$(I + 0.6924) / 1.6045$$

$$\rightarrow (5.3306 + 0.6924) / 1.6045 = 3.7538$$

※ 0.6924及び1.6045は推定生息密度を換算するための定数

頭/km²

III. 対象面積を乗じて
個体数算出

$$II \times c \times 25$$

$$\rightarrow 3.7538 \times 7 \times 25 = 656.9$$

※25は1メッシュあたりの面積

IV. 増加率を乗じる

$$III \times 1.5 \text{ (アライグマ増加率)}$$

$$\rightarrow 656.9 \times 1.5 = 985.35$$

次の出産期後の個体数

V. 増加数を求める

$$IV - III \text{ 最低目標捕獲数}$$

$$\rightarrow 985.35 - 656.9 = 328.45$$